

2月号 2025年2月24日発行 No.261 運営通信

この「運営通信」は、総代の皆さんに毎月の生協の事業や活動、経営に関する情報をお伝えするためにお届けしています。

記録的大雪による配達遅れ・欠品が生じました(一部エリア)

2月4日(火)からの大雪の影響で、一部エリアにて2月1回企画(2/3～2/7)のお届けの遅れや配達先にたどり着けず翌日お届けになってしまい、ご迷惑をおかけしました。

2月2回企画(2/10～2/14)でも入荷しない商品が複数発生し、欠品となりましたことをご詫言いたします。

配達先では『こんな大雪の中届けてくれてありがとう』『運転気を付けてね!!』等々、温かいお言葉をかけていただきました。

トラックが入って来られるようにきれいに除雪していただいているお宅もあり、大変助かりました。ご協力いただき本当にありがとうございました。



沢山降り積もりました



降雪で狭い道幅

今秋オープン！新店舗情報

新店舗建設地である富山市経堂の土地では既存建物解体の工事が進み、2/20(木)には起工式が執り行われました。起工式の様子は来月号の運営通信でお知らせします。



既存建物解体工事



1/14撮影
既存建物に足場が生まれ、シートで覆われている状態



1/24撮影
既存建物を解体撤去し、更地になっています

↑
とやま生協HPの
新店舗特集ページ
では、コンセプト
や新店舗NEWS、
店内イメージ(動
画)をご覧ください
けます



とやま生協HP
新店舗特集ページ

【目次】

1、記録的大雪による配達遅れ・欠品が生じました(一部エリア)・・・	表紙
2、今秋オープン！新店舗情報・・・	表紙
3、書損じハガキ等回収キャンペーン(HFW支援)・・・	P2
4、運営通信を通していただいた声をご紹介します・・・	P2
5、理事会だより、経営実績報告・・・	P3
6、重点課題で取り組んだこと・・・	P3
7、介護サービスアンケート結果報告・・・	P4
8、「生協10の基本ケア」に取り組んでいます・・・	P4

とやま生活協同組合
<https://www.toyama.coop/>
 富山市金屋555
 フリーダイヤル
 ☎：0120-555-192
 発行：経営企画G



書損じハガキ等回収キャンペーン(HFW支援)

とやま生協は、SDGsの17の目標の「飢餓をゼロ」にする活動を中心に取り組んでいるハンガー・フリー・ワールド(HFW)の趣旨に賛同し、「書損じハガキなどの回収キャンペーン」に取り組み、国際支援活動として協力します。



認定NPO法人 ハンガーフリーワールドとは？	(非政府組織) 飢餓のない世界をめざして活動している国際協力NGO
---------------------------	--------------------------------------

現在、世界では、10人に1人が“慢性的な栄養不足”＝“飢餓”に直面しているといわれています。
家の中で眠っている書き損じはがきや、未使用切手、商品券やゲームソフトなどを集めることで、HFWを通して換金され、飢餓を解決する活動に役立てられます。

昨年度の実績 (2024年1～5月)

	全国	とやま生協
換金額	1億6,215万1,703円	143万634円
参加人数	7万8,256人	892人

例えばこのように役立ちます



ハガキ3枚で養鶏のためのニワトリ1羽の購入を支援できます。

5000円分の商品券で自分たちで野菜栽培を始めるための、苗と種など2世帯分支援できます。

(回収しているもの)

- ・年賀はがき・郵便はがき(書損じ・未使用、未投函)
- ・未使用切手・使用済み切手(切手の周りをざっくり切ったもの)
- ・商品券・未使用テレカ・プリペイドカード(使用中、使用済みは対象外)
- ・外国紙幣(コインは対象外)・中古音楽CD・映画DVD(ケースごと)
- ・ゲームソフト・ダイヤ・金・銀・プラチナ製品



※生協の配達時やお店では回収できません。この運営通信と一緒にお届けしたチラシの封筒を切り取ってご活用ください。
 ※市販の封筒や段ボール箱でもお送りいただけます。(その場合は元払いで発送をお願いします)

1/28(火)にはとやま生協とコープいしかわの共同開催で、ハンガー・フリー・ワールドの活動について学ばオンライン学習会を行いました。(12名参加)
 HFWの小林さんが講師となり、回収した温かいお気持ちかどのように使われているか、実際の現地の様子も伝えていただきました。

とやま生協HPで詳しくレポートしておりますのでご覧ください。



とやま生協HP
(組合員活動報告)

送り先 ☎102-8790
 東京都千代田区飯田橋
 4-8-13山商ビル8階
 認定NPO法人
 ハンガーフリーワールド
 回収キャンペーン 係

全ての人々が、生まれながらに持っている基本的な権利のひとつである「食料への権利」の実現を支援し、安全で栄養があるものを十分に食べられるよう、みなさまのご協力をお願いいたします。(5月末まで)

運営通信を通していただいた声をご紹介します

配達スタッフさん、いつもご苦労様。これからの季節、雪が降り運転も大変だと思います。感謝しています。

能登半島地震から1年。そして豪雨と二次災害があり、多くのボランティアの支援もあり、全国から参加者の方に心が打たれました。

大雪の中、配達ご苦労様です。とても助かっています。ありがとうございます。

配達員さんの心配りがありがたく思います。女性というのがありますが、気配りにとても感謝しています。



◇話し合われたこと

第9回理事会 (承認事項)

1. 2024年度12月度の事業・活動および経営報告の件
【関連資料】12月度事業及び迎春商品取組みまとめの件
2. 第4回通常総代会開催要項の件
3. 生協役員賠償責任保険の加入(契約更新)の件
4. コープ共済連臨時総会議決判断の件

(協議事項)

1. 第2次中期3か年計画の件
(1)第2次中期計画 重点戦略課題に対する実施計画
2. 2025年度基調方針(2次案)の件
(1)2024年度経営見通しの件
(2)2025年度重点戦略課題に対する実施計画(1次案)

(確認事項)

1. CO・OPきょうどう店準備状況報告の件

◇12月度 事業・経営報告

(全体経営報告)

- ・総事業高は19億6,991万円で、予算比 98.9%、予算差-2,231万円です。
- ・経常剰余金は1億4,915万円で、予算差+118万円の実績です。

(機関運営、組合員活動報告等)

- ・能登復興支援ボランティアの事前登録を開始し、12月で73名の登録がありました。
- ・組合員活動参加は、ブロック協議会・委員会に114名が参加、18地域会で106名、せいきょうクラブ7回で41名の参加がありました。

重点課題で取り組んだこと

◆食の安全・安心、くらしの安心

食の安全・安心の取り組みレポートを発行しました。

今回のレポートでは、店舗(みなみ店)と福祉施設(まる～な)での衛生管理の取り組みを紹介しています。2/24(月)週に配布しておりますので、ぜひご覧ください。

とやま生協のHPからもご覧いただけます。



とやま生協HP



◆組合員の参加・参画



ユニセフのガザ人道危機緊急募金、 ウクライナ緊急募金のご報告

12月に実施した、ユニセフの「ガザ人道危機緊急募金」「ウクライナ緊急募金」には、1,387名から127万9,200円の募金が寄せられました。みなさまのご協力ありがとうございました！お預かりした募金は、4月に(公財)日本ユニセフ協会へ送金します。

今回、みなさんから協力して頂いた募金を支援物資に換算すると・・・
★赤ちゃんや子どもたちを寒さから守る、大きめの毛布1,778枚分に！

※1米ドル=140円で計算※輸送や配布のための費用は含みません。



×1,778枚分！！

みなさんの温かいご支援、ありがとうございます。

介護サービスアンケート結果報告

福祉施設ではケアマネジャーと利用者を対象に、毎年介護サービスアンケートを行っています。
2024年度の結果報告といただいたご意見をご紹介します。

実施期間：2024年11月1日(金)～12月6日(金)
配布＆回収方法：郵送＆返信用封筒にて返信

	配布数	回収数	回収率
ケアマネジャー	126	91	72.2%
利用者	259	123	47.5%

ケアマネジャーからのアンケート回答結果



設問	満足度
①職員の接遇・雰囲気	99.1%
②的確な情報提供	96.6%
③緊急・困難ケース対応	99.6%
④相談員・サービス提供責任者評価	97.5%
⑤ケアプランの理解	100.0%

利用者からのアンケート回答結果



設問	満足度
①接遇	90.4%
②印象・雰囲気	86.3%
③サービス満足度	88.0%

ご意見・ご要望(一部抜粋)

【ケアマネジャーより】

- 利用者ご本人に「お泊りはどうだったの？」と尋ねると「楽しかったよー!」と笑顔で応えられていたのがとても印象的でした。そのひと言がすべてを物語っています。(ゆとり～な)
- 困難ケースも嫌な顔せずに対応していただいて感謝申し上げます。個別対応してくれない所がある中、その人らしさを大事にさせていただいて助かっています。ありがとうございます。(まる～なデイ)
- 高齢者夫妻の妻を担当して頂いていますが、家族全体を把握して下さっており、心強い限りです。(まる～な訪問)

【利用者より】

- 要望はありません。職員の方に感謝だけです。大変助かっています。家族だけでは介護できなかったと思います。(輝くろべ)

「生協10の基本ケア」に取り組んでいます

とやま生協では「くらしのトータルケア事業」の取り組みの一つとして、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域社会創りをめざしています。
福祉施設利用者や家族一人一人が『住み慣れた地域で「普通の生活」を送り続けたい。』そんな当たり前の願いに寄り添い、実現するために、「生協10の基本ケア」に取り組み、在宅支援のお手伝いをしています。



「生協10の基本ケア」とは

日常生活行為そのものをリハビリと捉え利用者と介護職員がトイレ、食卓、浴室などでの日々の介助の中で、在宅生活を基本とした生活動作の維持・向上を目指します。
10項目にまとめられており、高齢になっても「最期までオムツをしたくない」「自分の力で美味しい食事を摂りたい」といった利用者の思いに応えます。

生協10の基本ケア

- ①換気をする
- ②床に足をつけて座る
- ③トイレに座る
- ④あたたかい食事をする
- ⑤家庭浴に入る
- ⑥座って会話する
- ⑦町内におでかけする
- ⑧夢中になれることをする
- ⑨ケア会議をする
- ⑩ターミナルケアをする



『生協10の基本ケア』取り組み紹介

第2課 床に足をつけて座る

床にしっかりと足をつけることで足の裏に圧がかかり **脳は目覚めた状態** になります。



施設では車いすのまま過ごすのではなく、必ず椅子に座り替えるようにしています。毎日立ったり座ったりを繰り返すことで、下肢筋力を向上し、トイレでの排泄が可能になったり、おせせることなく食事ができるようになったりと在宅生活の継続に繋がります。



第4課 あたたかい食事をする



食事をして美味しいと感じること、目で見て楽しむこと、においをかぐことでおなか为空くなど、五感を感じることで食欲が増します。
みんなで一緒に食事を作ったり、食べたりすることでより一層美味しく感じる事ができます。それぞれで役割を持ちながらできることをしてもらおうと取り組んでいます。